

Group Show of Contemporary Artists 2021 都美セレクション グループ展 2021

「都美セレクション グループ展」は東京都美術館が新しい発想によるアートの作り手を応援する展覧会です。今回は企画公募により選抜された3つのグループが実施します。当館のギャラリーA、B、Cのユニークな空間を舞台に、絵画、立体、写真、映像、インスタレーションなど様々なジャンルの作品を紹介します。

2021年6月10日(木) ～ 6月30日(水)

ギャラリーA、B、C

9:30～17:30 (入室は閉室の30分前まで)

なし

6月21日(月)

無料

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、各展覧会の実施グループ

会期:
会場:
開室時間:
夜間開室:
休室日:
観覧料:
主催:

・開催内容は都合により変更する場合がございます。最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

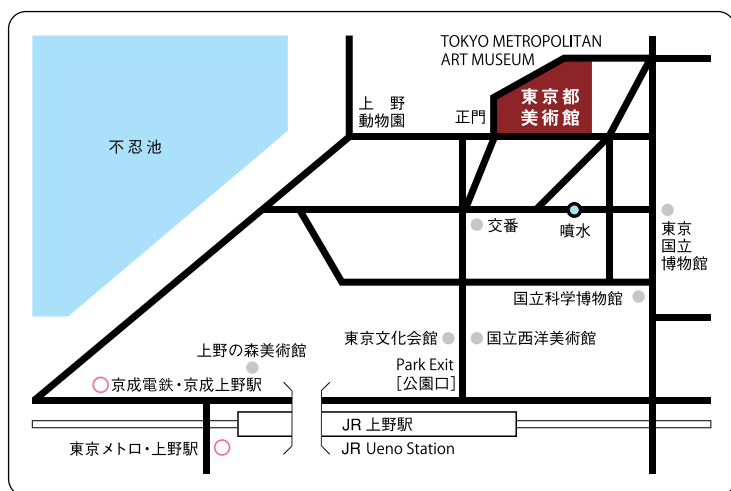
都美セレクション グループ展 2022の募集について

東京都美術館は毎年、新しい発想によるアートの作り手によるグループ展の企画を募集しています。審査により選抜されたグループには、当館がギャラリーA、B、Cのいずれかを無償で提供し、空間を活かした展覧会の開催を応援します。(※実施に係る費用はグループの自己負担となります。)

2022年6月上旬～7月上旬に開催するグループ展企画を、現在募集中です。

応募締切：2021年7月9日(金) 当日消印有効

詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.tobikan.jp>



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

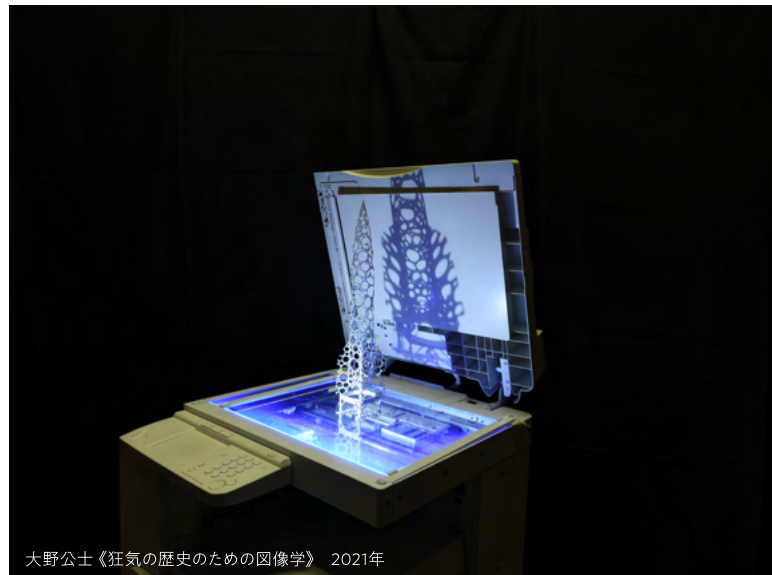
Tel: 03-3823-6921

<https://www.tobikan.jp>

交通のご案内

- JR 上野駅公園口より徒歩7分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅7番出口より徒歩10分
- 京成電鉄 京成上野駅より徒歩10分
- * 駐車場はございませんので、車での来場はご遠慮ください。

・展覧会は事前予約なしでご覧いただけます。但し、混雑時に入場制限を行う場合がございます。
・新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する取り組みについては、当館ウェブサイト<https://www.tobikan.jp>をご確認ください。



大野公士《狂気の歴史のための図像学》 2021年



南俊輔 《Zoom in out》 2018年



関優花 《私らへの備忘録》 2020年

2021 6.10 [木] → 6.30 [水]

観覧料無料

GALLERY

A

体感A4展

A4 Self-restraint/
Self-body

GALLERY

B

暗くなるまで待っていて
Until it gets dark

GALLERY

C

版行動
映えることができない

Han-Kōdō
(Print-Making-Action):
Failing to Be
Photogenic



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

文化でつながる。未来をつなげる。
THE FUTURE IS ART
TokyoTokyo
FESTIVAL

グループ名:

体感展企画室

Laboratory of DamaDamTal

グループプロフィール:

このグループ展はそれぞれ異なる時期に、群馬県の中条町で滞在制作をした（又はしている）15組の作家で構成されています。現在のような集う事が難しい状況であれば実現しなかったであろう出会いという体験、その土地での縁という体感を持って、2021年に今度は東京都美術館にて集まる事になりました。

展覧会名:

体感A4展

A4 Self-restraint / Self-body

展覧会内容紹介:

今回は作家全員に“A4”というテーマを告げました。

最も馴染みのある規定の用紙サイズA4。しかし「規定」とは本当に私たちの共通認識でしょうか？規定はそのまま規制にもなるのでしょうか？規定と規制を告げられた私たちはそれぞれ何を体験したのでしょうか？

“A4という規定のサイズという規制”

規定や規制の中にあっても、私たち自身の内側には個々の全く違う体感が生まれています。

関連イベント:

イベント等詳細はグループのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.taikanten.com>
Facebook アカウント @taikanten
Twitter アカウント @taikan_ten
Instagram アカウント @taikan_ten

助成:

公益財団法人朝日新聞文化財団、
NOMURA 野村財団

協賛:

東秀紙器株式会社



大和由佳《silver hair, bronze skin》 2021年 撮影：早川純一（参考作品）



DamaDamTal《モヤモヤの正体》 2021年 （参考作品）

出品作家:

アーサー・ファン

浅野暢晴

糸井潤

大野公士

大山里奈

鳥越義弘

西島雄志

半谷学

人見将

藤原京子

巳巳

三好由起

大和由佳

吉野祥太郎

DamaDamTal（みきたまき）

（＊はグループ代表者 以下同じ）

グループ名:

暗くなるまで

Until it gets dark

グループプロフィール:

わたしたちは、美術と映画の領域で、主にインスタレーションや映像作品の制作を行うコレクティブです。まなざしの揺らぎや記憶の所在、映写と投影の相互性など、多面的な観点から制作を実践しています。

展覧会名:

暗くなるまで待っていて

Until it gets dark

展覧会内容紹介:

本展は、インターバルを設けて映像を展示・上映することで、作品が互いに呼応しあうかのようなひとつの連動性をもった空間を創り上げます。暗室でフィルムに焼き付けられた像が浮かび上がるのを待つように、劇場でスクリーンに光が灯るのを見守るように、個々の映像が動き始めるまでの時間も含めてお楽しみください。

関連イベント:

イベント等詳細はグループのウェブサイトをご覧ください。

<https://until-it-gets-dark.tumblr.com>

助成:

公益財団法人朝日新聞文化財団、
NOMURA 野村財団

協賛:

コダックジャパン



飯嶋桃代《鏡とボタン》 2018年 撮影：加藤健 （参考作品）



池添俊《夜に鳴く雀》 2021年 撮影：高橋洋策 （参考作品）



斎藤英理《PR guy》 2020年 撮影：間庭裕基 （参考作品）

出品作家:

飯嶋桃代*

池添俊

石川亮

斎藤英理

南俊輔

グループ名:

版行動

Han-kōdō (Print-making-action)

グループプロフィール:

「版行動」は、私が私であることを大切にしながら日々の思考や制作を共にするために2019年5月に活動を開始した集団です。異なる目的を持ちながらも信頼関係で結ばれた他者との時には困難を伴うような協働の中で、複数の版からなる版画を見るときのように、作品と共に生きられた時間や経験を辿ることを可能にするような態度について共に考えています。

展覧会名:

版行動

映えることができない

Han-Kōdō (Print-Making-Action) :
Failing to Be Photogenic

展覧会内容紹介:

本展で私たちが考えるのは、異なる時代を生きた作家の作品をどのように受け取るか、作品や展覧会をいかに未来へと手渡すか、また作品にまわりつく関係性の網をいかに見るかなど、複数の時間をまたがる問いです。時に瑣末なものと捉えられるような制作・展示・記録に関わる一つ一つの物事を注視するために、ある作品や展覧会、そして歴史が形作られる過程に留まり続けるを試みます。その実践は「映えることができない」ものです。

関連イベント:

イベント等詳細はグループのウェブサイトをご覧ください。

<https://hankodo.net>

助成:

公益財団法人朝日新聞文化財団、
NOMURA 野村財団

出品協力:

ときの忘れもの

出品作家:

関優花*

千葉大二郎

堀内悠希

内間安理

企画協力：高橋沙也葉



千葉大二郎《八犬伝 GP》 2019年



内間安理《SHORT POEM Black & Red》 1967年 個人蔵